(歳 入) (歳 出) -----一 般 財 (市税など) 小学校費、中学校費、養護学校費 44億9,140万円 53億7,980万円 学校管理運営・人件費など 18億1,850万円 教育振興費 7億9,830万円 定財源 学校建設費 8億8,840万円 12億2,310万円 補助金 3億4,790万円 **公债费** 市債 4億9,080万円 15億3,990万円

平成15年3月末人口 28万3,398人 市民1人当たり 1万5,848円((**产**負担

今回は、 義務教

経費を考えてみましょう。 義務教育に必要な 充実の環境 備のために

の計五十八校があり、 中学校十八校、養護学校一校 本市では、小学校三十九校 我務教育費は53億円 、今年は

> 員の人件費は、県から支給され 断などの経費が掛かっています。 生徒が学んでいます。 るため、これには含まれていま なお、千三百三十一人いる教職 十万円を支出しました。 また、 施設の建て替えなどの学校建設 などの教育振興費、老朽化した 技士の人件費、教材教具の購入 る経費は、光熱水費や施設の維 このほかにも学校給食や健康診 持管理などの学校管理費、用務 平成十四年度の義務教育に係 借入金の返済である公債費 総額五十三億七千九百八

これに対し収入は、校舎改修 ります。一方、 市民が負担する 百四十万円にな が、八億八千八 の「特定財源」 金(市債) など の補助金や借入 などに対する国

「一般財源」は 円を負担してい 四十万円。市民 四十四億九千百 ることになりま 五千八百四十八 人当たり一万

> 実した教育環境の整備に努め 育の場」「生活の場」として充

今後も、子どもたちの「

ていきます。

10 分かりやすい ざいせい

一万三千二百七十六人の児童

義務教育に係る経費は、 次代を担う子どもたちに

さんを敬い、長寿を祝うと

わたしたちの先輩である皆

上げます。これを機会に、 感謝し、長寿をお喜び申し

ってたくましく生きる児童 な経費です。 った子どもたちのために必要 代を担う、無限の可能性を持 推進しています。 特色ある教育・学校づくりを また、各学校で創意工夫した 数指導などを行っています。 生徒の育成を目指し、「まえば 希望を持ち、その実現に向か を身に付けさせるため、少人 を図るとともに、必要な学力 る力など、「生きる力」の育成 し学校教育・夢プラン」を推 豊かな人間性や自ら考え 本市では、夢や

下增田町

展に貢献してきた皆さんに

日」。長年にわたり社会の発

九月十五日は「敬老の

100

歳以上の皆さん紹介

こ長寿をお喜びします

満100歳以上の長寿者

満101歳 須永 いし

フジ 金丸町 満109歳 野沢 女 女 下長磯町 満105歳 森村 ぶん 女 満104歳 高橋 よし 亀泉町 女 ウラノ 女屋町 女屋 ウラ 女 広瀬町二丁目 黒沢 女 奥野 よしの 東大室町 満103歳 上増田町 エイ 女 重田 ジヤウ 女 東片貝町 三森 満102歳 小野里 チヤウ 女 江田町 ミツ 女 六供町 原田 南町四丁目 女 細田 ヨシ 女 品川 タケノ 国領町二丁目 関口 女 上小出町二丁目 まさ カン 女 金森 石倉町五丁目 川又 文治 男 大手町三丁目 中村 かす枝 女 緑が丘町 うめ 女 昭和町二丁目 満101歳 奈佐

女 石田 スエ 南町二丁目 春五郎 男 岩神町二丁目 年齢は9月8日現在の満年齢(敬称略)

上小出町一丁目

六供町

稲荷新田町

男

男

女

女 斉藤 ます 文京町一丁目 五十嵐 ヨネ 女 上佐鳥町 清水 きみ乃 女 西善町 女 満100歳 高橋 ヨシエ 鳥羽町 女 **‡**5 小堀 朝日が丘町 女 寿々子 紅雲町一丁目 小池 女 岩本 きん 青梨子町 根井 でん 女 千代田町一丁目 五十嵐 政重 男 堤町

女

端気町 桜井 トキ 女 女 小堀 25 青梨子町 羽鳥 かつの 女 笂井町 キシ 女 昭和町三丁目 神保 女 カネ 朝倉町 もよ 女 天川大島町二丁目 まち 女 大手町二丁目 加藤 女 三河町二丁目 西本 セツ 美寿子 女 中村 山王町 ヨネ 女 関口 日吉町三丁目 さと 女 朝日町一丁目 伊東 阿久津 タケ 女 総社町総社

男

前箱田町

松本 正男

めましょう。

ここでは、皆さんの長寿を祝

め、高齢者の生活向上に努 ともに、福祉への関心を深

ſί

市内の百歳以上の長寿者を

課

紹介します。 ...問い合わせは介護高齢福祉

最長寿者の野沢フジさん

中島 峯造

小林 貞二

斉藤 ハナ